

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議

(第11期 第2年 第3回 第1日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2017(平成29)年10月15日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 17人

葉元聡、金スノオグ、レベトギアカン、幕内嘉雯、河本フアビオ
良則、ヘイジャフイ、スタントイルワン、河相宇、バルトコバオクサナ、
ホサニアハマド ユースフ、牟鳳菊、ディットマーダニエラ、
ケゼングアエドワード ムウィンビ、キースタケーシー ジェイ、蔣香
梅、ヒラチャン アスカ、サリ アビシエク

(2) 事務局

鈴木室長、須藤課長補佐、丸橋職員、平山職員、高橋専門調査員

4 傍聴者 5人

5 会議次第(公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ヘイ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議2017年度、第3回
第1日を開催する。本日は、韓さん、ヴィラマーさん、ライゼールさんから
欠席の連絡があった。それでは、まずは本日の日程と配布資料の確認について、
事務局から説明をお願いする。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

へい いんちよう つぎに、ぜんかいかいぎのまとめについて、じむきょくからせつめいをおねがひする。」
(じむきょくたかはしせんもんちようさいん しりよう 1 に基づきせつめい。)

へい いんちよう なに しつもん 何か質問はあるか。(なし)では、ぎじにはいり 議事に入る。1つ目は、だいひようしや 代表者の
じにん ほじゅう 辞任と補充についてだ。こんかい、すずきいえれなさんからじにん もうしで 辞任の申し出があった。
すでにほじゅうについてはなんどか しんぎ 審議しているが、しりようせつめい 資料説明はしょうりやく 省略でよいか。
(いぎなし) ほじゅう 補充するかどうかだが、こんかい のこの きかんが みじか 短いので補充
しないということよいか。さんせい 賛成の人はてを あ 挙げてください。(ぜんいん 全員
さんせい) では、ほじゅう 補充はしないということよいかでけつてい 決定だ。次のぎじ 議事は、おーぶんかいぎ
オープン会議
についてだ。じむきょくからしりようせつめいをおねがひする。」

(じむきょくたかはしせんもんちようさいん しりよう 3 に基づきせつめい。)

へい いんちよう それではじゆんぱん に 順番に確認していきたい。たいむすけじゅーる について、あん
案のとおりでよいか。(いぎなし) ぶんかかい 分科会とぜんたいかい 全体会の方法とすすかた 進め方について
も案のとおりでよいか。(いぎなし) では、つづいてこめんてーたー など
についてじむきょくからせつめいをおねがひする。」

(じむきょくたかはしせんもんちようさいん しりよう 3 に基づきせつめい。)

へい いんちよう いま、せつめい に あったようにこめんてーたー はよばず、ていげん 関係のありそ
うなこくさいこうりゅうきょうかい などにおぶざーばー としてさんかをよびかけるということよ
いか。(いぎなし) それでは、さいごにしかいを決めたい。きょうじつこういんかい
今日の実行委員会
のなかではしやうさんとすたんとさんが候補としてあがったが、ほかにぜひやりた
いというひとはいるか。(なし)では、しやうさんとすたんとさんでよいとい
う方ははくしゅをおねがひする。(はくしゅ) 今回のおーぶんかいぎ だいひようしや 参加が
すく 少なくなってしまうそうだが、みなさんきょうりやく 協力してがんばりましょう。それぞ
れのぶんかかい 分科会でのやくわりぶんたん は、かくぶかい 各部会の中できめてほしい。それでは、ぶかいしんぎ
部会審議
に移る。」

【じようほう・しゃかいきょういくぶかい】

きーすたぶかいちよう 「それでは、じようほう・しゃかいきょういくぶかい を始める。ぜんかいかいぎ のまとめにつ
いてはしょうりやく 省略でよいか。(いぎなし) きょうのなが 流れだが、まずはがいこくじん 向け
オリエンテーションについてのしんぎ 審議を40分、次におーぶんかいぎ についての
しんぎ 審議を25分とかんが 考えている。じかん 時間もかぎられてるので、おーぶんかいぎ に向け
てということよいかでひとまずいろいろときめていきたい。それでは、じむきょくから
しりようせつめいをおねがひする。」

(事務局丸橋職員が資料4、資料4-1に基づき説明。)

キースタ部会長「それでは、資料に沿って確認を進めていきたい。まずは、背景・理由の部分について何かあるか。」

スタント委員「一番大事なところは、情報をいかに届けるかというプロセスを改善することだ。これまでの審議の中で出てきたのは、ウエルムセットなどすでに情報は渡していても、ほとんどの場合は見ていなくて、そのままになってしまっているということだ。だから、人が説明する機会をつくるというのが一番の重要なポイントだ。」

ヒラチャン委員「今まで話した内容を踏まえた背景と理由になっていると思う。」

デイトマー委員「基本的に重要なポイントを網羅していると思う。とくに、川崎市が進める多文化共生社会の実現とのつながりを意識することは、提言の説得力も増すし、とてもよいと思う。あとは、オリエンテーションはあくまでも入口で、オリエンテーションのあとにしっかりと窓口につなげたりすることも明確にしておくのがよいと思う。」

ヘイ委員長「たとえば、背景に仙台の事例をあげるのはどうか。」

事務局丸橋職員「参考にしたという意味で書いてもよいと思う。」

キースタ部会長「では、背景・理由については今あがった意見を反映するというところでよいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)次に、提言の内容について確認したい。前回は、名前をどうするかということも審議したがどうか。」

レベト委員「名前は大事だと思う。オリエンテーションに行きたいという動機づけになる。『オリエンテーション』はそのままでよいが、あわせてそれぞれの言語で魅力的に感じる名前をつけるとよいと思う。」

ヘイ委員長「名前に関しては今のような提案の仕方でもよいと思うが、結局、実際に名前をどうするかというのは提言を受けた市が決めることなので、ここで時間をかけて具体的な名前を決めるということはしない方がよいと思う。」

キースタ部会長「事務局に確認したいのだが、提言ではオリエンテーションの名前まで具体的にした方がいいのか。」

事務局丸橋職員「具体的な名前まで提案する必要はない。それよりも、オリエンテーションのポイントを明確にして欲しい。」

キースタ部会長「それでは、提言としてはオリエンテーションの開催というレベルでよいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、引き続き

内容に関して何かあるか。」

牟委員「子どもの教育のことで相談する総合教育センターについても紹介してはどうか。」

キースタ部会長「それだと対象が限定的すぎるのではないか。総合教育センターの紹介は、一応、『外国人の皆さんへ』の中に載っている。」

幕内委員「医療情報と保険が大事だと思う。初めて日本に来る人にとっては知らないと困る。」

スタント委員「かわさきアプリの紹介もしたらどうか。私も最近知った。」

サリ委員「それぞれ簡単に説明するということが、具体的にはどの程度の説明になるのか。」

ドイツマー委員「全体的に窓口の案内が中心という話になっている気がするが、だからといって『税金は払わなければいけない』と一言で終わらせることはできないと思う。制度の概要は説明して、だけど細かい申請の仕方などは各窓口に行ってくださいというようなイメージだ。たぶん、1時間はすぐに経ってしまうと思う。」

レベト委員「川崎市に転入してくる人で、海外から来る人と他都市から来る人や小さな子どものいる人、留学生では必要な情報が違う。全員を同じオリエンテーションの対象としてしまうと内容が薄くなってしまうのではないか。対象の属性にあわせてオリエンテーションの内容を変えてはどうか。」

キースタ部会長「それでは、資料にあるものは最低限やってもらい、あとはアンケートをとったりしてその都度改善していくという方針でよいか。よければ手を挙げてください。（全員賛成）では、対象についてはどうか。」

牟委員「受講者だけではなくて、たとえば川崎市に長く住んでいる経験のある外国人市民にも参加してもらってアドバイスしてもらうのはどうか。」

キースタ部会長「個人的にはよい提案だと思うが、まずはオリエンテーションの対象をどうするかということを先に決めたい。対象については、資料の案のおりでよいか。（全員賛成）続いて、開催場所と頻度についてはどうか。」

サリ委員「これは実施する側に任せるのがよいのではないか。私たちが回数を指定できない。」

キースタ部会長「指定はできないが、提案はした方がよいのではないか。」

サリ委員「希望としては、3回くらいはあった方がいいかと思うが対応言語をどうす

るのかということとも関連してくる。」

キースタ部会長「サリさんは前回欠席だったが、基本的にはやさしい日本語で実施することになった。」

サリ委員「そうすると、海外から来た人は何もわからないのではないか。」

レベト委員「頻度は開催する側が決めればよいと思うが、場所に関しては各区役所で年に1回以上としてはどうか。」

ヘイ委員長「各区役所でというのは、ハードルとして高すぎるかもしれない。区役所に限定しない方がいいかもしれないし、もう少し柔軟性をもたせた方がいいと思う。」

スタント委員「たしかに、たとえば国際交流センターは候補の1つとしてとてもよいと思うが、区役所と限定してしまうと外れてしまう。」

キースタ部会長「やはり、柔軟性のある表現の方がよいと感じたが、それならば案のおおりでよいか。（全員賛成）時間に関しては、ひとまず2時間ということによいか。（全員賛成）Q&Aの時間を必ず入れるようにすることについてもよいか。（全員賛成）運営は、市と国際交流協会が連携するということかたちを想定しているが、これについてはどうか。」

サリ委員「それは、私たちが決められることではないと思う。」

キースタ部会長「では、ひとまずオープン会議での意見などもふまえてあらためてどういった文章にするのかを検討することにしたい。多言語対応についてはどうするか。」

デイトマー委員「基本的には説明は日本語でよいと思うが、通訳の希望を事前に受けつけて対応すればよいのではないか。」

キースタ部会長「それでは、ひとまずオープン会議で説明する際にはやさしい日本語と通訳ということによいか。（全員賛成）続いて、広報について事務局から説明をお願いする。」

（事務局丸橋職員が資料4-1に基づき説明。）

幕内委員「ウエルカムセットの中に入れるのがよいと思う。」

キースタ部会長「オープン会議で意見を聞きたいことについてはどうか。」

サリ委員「多言語対応についてが一番重要だと思う。」

デイトマー委員「聞くポイントはある程度絞った方がいいと思う。」

キースタ部会長「それでは、ある程度ポイントを絞ったうえで、余裕があればその他のことについても聴くということによいか。（全員賛成）最後に、

オープン会議当日の役割分担を決めたい。私が指名してよいか。司会の補佐はダニエラさんをお願いしたい。板書はアスカさん、タイムキーパーはスタントさんでよいか。それでは、本日の部会はここまでとする。」

【地域生活部会】

金部会長「それでは、地域生活部会を始める。前回会議の確認については省略でよいか。（異議なし）今日は、まずは避難所における多文化共生について、次に保育の申請について、最後にオープン会議についてということで進めたい。それでは、避難所における多文化共生について事務局から資料説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5-1に基づき説明。）

金部会長「『り災証明書交付願』についてだが、『り災証明書交付願』を多言語化するのではなく、多言語版の記入例を作成するというのはどうか。」

蔣委員「たしかに、書類を多言語化するよりも、多言語版の記入例をつくる方がよいかもしれない。」

バルトコバ委員「私たちが作成するのであれば、たとえばロシア語版もつくれると思う。」

金部会長「では、『り災証明書交付願』の多言語版の記入ガイドを私たちでつくるといってよいか。賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）」

河委員「作成するのは『り災証明書交付願』だけでよいか。ほかの書類は大丈夫か。」

金部会長「以前の部会審議の際に確認したと思うが、書類自体はたくさんある。それを全部というのは無理だと思う。その中で、一番重要な書類が『り災証明書交付願』ということだ。」

葉委員「受付シート（案）のについてだが、たぶん避難所に来た時にはパニックで余裕がなかったりすると思うので、もっと細かい項目が書かれていた方がよいと思う。」

ケゼングア副委員長「私は必要なことは十分押さえられているので、今のままでよいと思う。逆に細かすぎるとよくない。」

蔣委員「受付シートの作成はとてもよいと思う。パニックになるのもわかるが、災害が起きれば外国人も日本人も関係ない。みんなで一緒に協力しなければいけない。外国人だけが支援してもらうのはよくないし、私たちにもできる

ことがある。」

金部会長「では、受付シートを私たちでつくるということでよいか。賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）では、CLAIRのツールを避難所運営マニュアルに落とし込んで、活用して欲しいということについてもよいか。賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）それでは、次のテーマに移りたい。保育の申請について、事務局から資料の説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5-2に基づき説明。）

金部会長「それでは、質問や意見はあるか。」

蔣委員「この前、ほかのことで宮前区の担当者に話を聞いたのだが、宮前区では日本語版しかないので、日本語ができない人たちは日本語のできる知り合いを連れてきたり、そうした知り合いがいなくて諦める人も多いそうだ。川崎区以外でも多言語版が導入できるとよいと思う。あとは、多言語で相談できるところがあるとよい。」

事務局高橋専門調査員「少し補足したい。川崎区が多言語版は川崎区の予算で作成しているの、それをほかの区でも活用して欲しいというのはできないと思う。それならば、各区でそれぞれ作成して欲しいということもできるが、実際にはそれほどうまくいかないように思う。以前の子育てガイドブックの多言語版の作成という提言も、結局、それぞれの区によって受け止め方や取組に違いが出てくる。」

葉委員「私たちが川崎区のことを参考にして作成し、それを活用してもらおうというのはどうか。」

金部会長「以前、審議した時にはそもそも川崎区が多言語版が見にくいという意見もあった。そう考えると、やはり川崎区のことを参考にしながら私たちが見やすいように作成するのがよいと思う。」

蔣委員「保育園の制度は複雑なので、私たちがわかりやすい多言語資料を作成するのは難しいと思う。説明会のようなものが必要ではないか。」

河本委員「個人的には、制度が複雑で難しいのは日本人でも同じだと思う。外国人ということで考えると、揃えなければいけない書類の名前が日本語でルビもないのが一番困ると思う。チェックリストで書類にルビをつけたり、ローマ字表記をつけたりするだけでも助かる部分は大きいと思う。」

金部会長「時間がないので、これ以上細かいことまでは詰められないが、基本的には保育の申請を手助けすることを目的に、私たちが多言語の資料をつくると

いう方向でよいか。賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）では、残りの時間でオープン会議について審議したい。まずは、出欠状況の確認をしたい。まだ、未定だった人はどうか。」

ホサニ委員「参加できる。」

河本委員「まだわからない。」

金部会長「では、役割分担を決めたい。まず、進行の補佐をしてくれる人はいるか。

河さんにお願ひできるか。（承諾）板書はどうか。」

葉委員「何語でもよいか。」

金部会長「全員で共有するためのものというより、あとで確認するためのメモなので何語でもよい。葉さんにお願ひできるか。（承諾）では、オープン会議では、ひとまず今日話した多言語資料のサンプルを準備して、それに対して意見をもらうことを中心にするということでは、（異議なし）では、サンプルづくりに協力をお願ひする。以上で部会審議を終わりにする。」

【全体会】

ヘイ委員長「それでは、全体会を再開する。まずは、情報・社会教育部会からお願ひする。」

キースタ部会長「今日は、オープン会議でどのように私たちの案を提案するかということをお話し合った。背景や理由について説明したうえで、基本的にはウェルカムセットの内容を中心にするが、たとえば年金などの制度についても説明する。対象は川崎市に転入してきた人が中心で、場所や回数に関してはあまり限定しないことにした。時間は2時間程度がよいのではないかとということになった。言語に関しては、「やさしい日本語」で開催するが、事前に通訳の申し込みができると思っている。あとは、Q&Aの時間を必ず確保すること。広報は、市のホームページ、ウェルカムセット、区役所を中心に行く。オープン会議では、日本人の立場から外国人市民に知って欲しいことと多言語対応について参加者から意見を聴きたいと思っている。」

ヘイ委員長「何か質問や意見はあるか。」

ホサニ委員「時間は2時間程度ということだが、通訳が入るとそれで半分くらい時間がとられてしまうと思う。」

キースタ部会長「オープン会議で意見を聴きたい。」

ヘイ委員長「次に、地域生活部会から報告をお願ひする。」

金部会長「まず、避難所における多文化共生についてだが、り災証明書交付願は多言語化ややさしい日本語化ではなく、多言語の記入例をつくるということにした。それと、CLAIRが作成した『多言語避難者登録カード』を避難所運営マニュアルに載せて活用するというのも全体で合意がとれた。また、外国人も運営に協力できるようにする『受付シート』を私たちが多言語で作成するというのも決めた。保育の申請についてだが、申請をサポートすることを提言の目的にすることにした。川崎区の多言語資料を参考に、私たちが多言語の資料を作成しようということになった。オープン会議では、多言語資料のサンプルをつくってそれについて意見をもらうということを中心に考えている。役割分担については、進行の補佐は河さん、板書は葉さんに決まった。」

ヘイ委員長「何か質問や意見はあるか。」

ディットマー委員「川崎区に保育の多言語資料があるとのことだが、それを他の区でも実現することはできないのか。」

金部会長「川崎区の多言語資料は川崎区の予算で作成しているので、それを他の区でも利用するというのはできないと思う。各区で予算を確保できるのかということは、各区でどれくらいニーズがあって、その必要性が認識されているのかということによる。どの区でもニーズはあると思うが、人数が少なければ予算を確保することが難しいと思う。」

ヘイ委員長「では、次に実行委員会報告だ。ニューズレター編集委員会から報告をお願いする。」

葉委員「今回は第62号の内容について決めた。第62号は、我々第11期のメンバーの最後の号になる。」

ヘイ委員長「次に、市民祭り実行委員会からの報告をお願いする。」

ヒラチャン委員「今日も代理で報告する。市民祭りでやることについてだが、今回は世界のお茶の試飲や子ども向けのゲームについても引き続きやるが、大人向けにオープン会議のPRなどに力を入れようということになった。みなさん、事前の準備や当日も協力をお願いする。」

(参加者の確認)

ヘイ委員長「本日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・かわさき市民祭りについて

ヘイ委員長「何か質問はあるか。（なし）来月はいよいよオープン会議だ。参加が未定の方もかなりいるが、できるだけ調整をして参加して欲しい。市民祭りについてもお願いする。それでは、これで2017年度第3回第1日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」